

第36回あぶくま洞大多鬼丸旗争奪児童ソフトボール大会における 新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン

あぶくま洞大多鬼丸旗争奪児童ソフトボール大会実行委員会

大会開催に際し、新型コロナウイルス感染症拡大を予防するために、大会参加者及び関係者はこのガイドラインを周知・遵守しなければならない。これを遵守できない者には、大会への参加の取り消し・途中退席を求めることがある。また、大会後に参加者等の感染が確認された場合は、関係機関へ個人情報を提供することがある。

参加される皆様の安全を確保するため、御理解と御協力をお願いいたします。

1. 共通事項

- (1) 密閉・密集・密接を回避すること。(人と人との間隔は2mが目安)
- (2) 飲食時及び競技中の選手を除き、原則マスクを着用すること。
- (3) 大声での会話、応援を禁止する。
- (4) 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。
 - ア 体調がよくない場合
 - イ 家族等身近な人に感染が疑われる方がいる場合
 - ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- (5) 大会終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大会事務局へ速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- (6) 新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCONA)を積極的に導入すること。
- (7) **各チームの来場時間は試合開始1時間前を原則とし、試合が終了したチームは速やかに帰宅する。※各試合の審判を行う者を除く。**

2. 大会関係者(参加チーム、運営スタッフ、メディア)への対応

(1) 入場制限

- ア 競技運営に直接関わらない関係者(来賓も含む)は来場を控えること。
- イ **1チームの入場可能人数を42名とする。**
 - ベンチ入り24名(内訳は大会要項を要確認)、引率者18名
- ウ **選手1名に対して1名の引率者のみ来場可とする。**なお、チーム登録者(監督・コーチ等)を除く。
- エ **登録選手以外(控え選手・2軍選手)は、来場を控えること。**来場する場合は、(イ)の引率者として1名カウントすること。

(2) 体調管理

- ア **チーム登録者及び引率者は、大会当日から過去1週間分の体調を管理し、体調チェックシートに記録すること。(様式1)**
- イ **チーム代表者は、チーム登録者及び引率者の体調チェックシートを大会当日に提出すること。(様式1、様式2)**二日目は様式3を使用すること。

(3) 感染予防

- ア 試合に出場している選手以外(ベンチ入りしている監督・コーチ・控えの選手等)はマスクを着用すること。
- イ タオル・ペットボトル・コップ等の共用は避けること。

ウ 運動場備え付けのベンチ等を使用した場合、使用したチームが消毒等を行うこと。

3.観戦者への対応

- (1) 選手の引率に必要最低限な人数のみ同行し、過度な人員の来場は控えること。
- (2) 応援方法について、以下の行為を禁止する。
 - ア 肩組み・飛び跳等、接触を伴う応援
 - イ 大声での声援等、飛沫を伴う応援

4.競技上（練習を含む）の留意点

- (1) バット、ヘルメット、グローブ、打撃用手袋、ロジンバック等は可能な限り共用を回避するよう努め、共用せざるを得ない用具についてはこまめに消毒すること。
- (2) 唾や痰を吐く行為を禁止する。
- (3) 選手、特に投手は指を舐める行為を禁止する。
- (4) ハイタッチ・ハグ等、身体的接触を避けること。
- (5) グラウンドレベルでの円陣は控えること。
- (6) ベンチ内から声援や支持を出す場合は、対人距離に注意すること。
- (7) 監督・選手・審判の握手は禁止する。
- (8) 球審はマスクもしくは飛沫防止用シールドを着用しなければならない。
- (9) 球審は捕手に触れてはいけない。
- (10) 試合開始時の整列及び礼は、球審の集合準備の合図で両チームがベンチの前に整列し、その場で礼をして行う。試合終了後も同様の形態とする。

5.その他

- (1) 競技中の選手・医師等の指示を受けている者を除き、マスクを着用していない者がいた場合、大会運営スタッフは当該者に対しマスク着用を指示すること。
- (2) (1)の指示に従わない者がいた場合、即座に大会本部へ連絡するものとし、大会本部は当該者に対し退場を求め、当該者はこれに従わなければならない。
- (3) 大会会場に次の物を準備する。
 - ア 本部・審判待機場所・運営スタッフ待機場所・トイレ・手洗い場所に消毒液を用意する。
 - イ トイレ・手洗い場所にポンプ式石鹸・ペーパータオルを用意する。
 - ウ 受付に飛沫防止シート等を設置する。
- (4) 運営スタッフは複数の参加者が触れると考えられる場所をこまめに消毒する。